

2025年度第1回おおぶ文化交流の杜運営協議会

日 時 : 2025年5月22日(木) 14:00~16:00

場 所 : おおぶ文化交流の杜 1階Aスタジオ

出席者 : 委員7名／大府市(細谷文化交流課長・深谷文化振興係長・足立文化振興係主査) 事務局
(JTB コミュニケーションデザイン:以下JCD 総合館長松井・文化交流部門マネージャー
一和田・エリアマネジメント部:森) 図書館流通センター:以下TRC(図書館館長村上・図書館部門マネージャー小倉)

発 言 者

議 事 錄

事務局 本日はお忙しい中お集まり頂き、ありがとうございます。

2025年度第1回おおぶ文化交流の杜、運営協議会を開催させていただきます。

司 会 アローブも7月には開館12年目を迎え、地域の期待に添えるよう様々な工夫を凝らし課題と向き合いながら日々順調に運営していると聞いている。

本日は文化部門・図書館部門の昨年度下半期報告と、来年度事業計画案について議論して頂きたい。

忌憚のないご意見をお聞かせいただきたい。本協議会の規約に則り、委員過半数の出席の為会議成立とする。

～2024年度下半期文化交流部門より説明～

司 会 ご意見ご質問などお願いしたい。

E 委 員 「長久手市文化の家を見学(P.22)」で長久手市文化の家のサポーターのフレンズと、allobuの育み隊メンバーが活動に求めているものとは異なるとはどういう意味か。

J C D フレンズの活動は自主事業を企画、運営したり、フレンズ会員を募集介入したりしている。ボランティア活動を5つの専門部(運営部、機関紙部、事業部、研修部、うたごえフレンズ部)に分けて各専門部がサークルのように活動している。allobuの育み隊は主に弊館の自主事業のフロントスタッフ活動がメインで、長久手市の活動とは異なるとの意味だ。しかしいい刺激を受けていい勉強になったと考える。

司 会 その他にご質問はないか。

アウトリーチ(おでかけアローブ、P.38)は企画後、先方と事前打合せをして実施しているのか。

B 委 員 特に今回は学校側の先生方との打合せを実施した。生徒さんの中には日常ではないことに驚いたりすることもあるので、事前打合せは重要だった。

J C D その他ご意見ご質問はないか。

ウクレレコンサート(P.10)の100人ウクレレ企画が継続されていることはすごいことだ。

司 会 長く継続するための工夫などあれば教えてほしい。

C 委 員 メインとなる講師に教わりたい生徒が多数おり、講座担当者もウクレレ経験者で生徒の相

J C D 談役にもなって受講者が定着している。講座で習うことばかりでなく発表の場があることもやる気に繋がっていると考える。また、おそろいのTシャツを作成し、コンサートの際に着用するなど講座全体に一体感を作っていることも大きな要因だ。

司 会 ぜひ継続してほしい。

D 委 員 映画「チョコレートな人々 (P.4)」は入場者数が少なかったのはなぜか。

J C D 非常にいい映画だっただけに残念だった。大府市内の全小中学校への電子チラシ配布、広報おおぶ、インスタグラムなどに加え、阿武野プロデューサーに興味があるであろう映像系の学校・学生にターゲットを絞ってチラシを配布するなど工夫はしたが多くの集客にはつながらず残念であった。障がいの有無に関わらず、様々な問題について考えるきっかけを貰えた映画だっただけに多くの人に見てほしかった。

D 委 員 この映画は入場者数云々より、内容に意味のある映画であって、上映されたことに社会的に意義があったと考える。次回以降も入場者数も気になるであろうが、意味のある映画を上映する社会的意義も考えて企画に取組んでほしい。

J C D 承知した。

司 会 その他にご意見はないか。

全 員 特になし。

～2024年度下半期図書館部門より説明～

司 会 ご意見ご質問などお願いしたい。

C 委 員 資料費の内訳を開示して欲しい。

T R C どこまで開示できるか確認して報告する。

C 委 員 前回の運営協議会では雑誌スポンサー制度を導入して集まった資金で電子書籍を購入すると聞いていたが、既に電子は購入しているのか。

T R C 購入している。もともと資料費の中には電子書籍の予算は含まれており、開館当初から電子書籍は毎年購入している。

雑誌スポンサー制度を導入してから電子書籍を購入するのではない。

D 委 員 雑誌スポンサー制度のお金の流れはどうなるのか。

図書館に入るのではなく、市に入るのか。

市が電子書籍を購入して図書館へ渡すのか。

大 府 市 雑誌スポンサー制度は、スポンサーになっていただく企業様などに、既存の雑誌を実物で応援していただこうというものである。お金は図書館にも市にも入らない。市の公共施設である図書館でこの制度を進めるにあたっては市としての判断が必要であり、現時点では導入は未定である。一方で電子書籍には子どもの読書率を上げるという意義を感じている。読書ばなれを止める一助になればいいと思っている。

D 委 員 電子書籍が時代の流れになっていることや、バリアフリーの点からも重要だと理解しているが、紙の本を読むように導いてほしい。

司 会 市役所から何かご意見はあるか。

大 府 市 選書の部分は、TRC に一任している。限られた資料費で、これまで紙の資料をメインで収集してきたが、図書館ばかりしている中での新しい試みとして電子書籍の収集を進めると いう理解であり、新しいチャレンジとして期待している。

その他にご意見はないか。

司 会 本と DVD の貸出し期限が違うのは、利用者からするとなぜ違うのかと疑問に思っている。

F 委 員 同じであれば、一緒に返却することができる。検討してはどうか。

T R C 検討する。

～第3期おおぶ文化交流の杜中期事業計画「あしたの杜」文化交流部門の説明～

～第3期おおぶ文化交流の杜中期事業計画「あしたの杜」図書館部門の説明～

司 会 文化交流部門、図書館部門に今年 11 年目を迎えての事業実施状況や、そして来年度事業計画案について説明をいただいた。ご質問ご意見があれば伺いたい。

D 委 員 TRC スタッフの人員構成について、最近、スタッフ数が減り、館内のサービスに影響が出ているのではないかと懸念する。今の人員構成ではサポート体制が弱くなっているのではないか。

T R C 人員の補充は随時行っており、現在、体制は整っている。スタッフの減少は、ご家庭の事情や、キャリアアップ、弊社内での人事異動など様々あるが、サービスに影響ができるような状況にはなっていない。スタッフが働きやすい環境を作るよう努力していきたいと考える。

D 委 員 承知した。

司 会 他に全体を通じての意見、質問はないか。

大 府 市 年間でたくさんの事業を実施していただいているので、引き続き企画・運営をお願いしたい。

司 会 特になければ事務局から今後の事務連絡をお願いする。

事 務 局 次回 2025 年度第 2 回運営協議会開催は、2025 年 11 月 20 日（木）おおぶ文化交流の杜会議室で 14 時から予定している。今後も市民や地域団体のみなさまと連携しコミュニケーションを大切にしながら、皆さまに満足して頂けるようにスタッフ一同日々努力していきたい。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひしたい。

司 会 以上で協議事項は全て終了した。閉会。